



TITLE:

表紙、巻首図版、序、例言、目次  
、図版目次、挿図目次、表目次、  
奥付

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙、巻首図版、序、例言、目次、図版目次、挿図目次、表目次、奥  
付. 京都大学構内遺跡調査研究年報 2017, 2015

ISSUE DATE:

2017-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/225806>

RIGHT:

# 京都大学構内遺跡調査研究年報

2015年度

京都大学文化財総合研究センター

巻首図版



京都大学吉田南構内A P 23 区 弥生時代前期の水田と流路

# 京都大学構内遺跡調査研究年報

2015年度

京都大学文化財総合研究センター

## 序

本年報は、文化財総合研究センターがおこなった京都大学構内に残る遺跡の発掘調査のうち、2015年度に整理の終了したものについて、その研究成果をまとめたものである。

第Ⅰ部で報告する2件の発掘調査のうち、病院西構内の調査では、江戸時代以降の耕作や土地境界に関わる遺構群が見つかり、京近郊の耕地の実態を解明する資料となった。吉田南構内の調査では、南側に隣接する地点で見つかった弥生時代前期の水田遺構の北縁部の様相が明らかになり、列島における水稻農耕導入期の実態を示す特筆すべき成果となった。また、第Ⅱ部の紀要では、山城国愛宕郡に所在した中山吉田寺について、その所在地や沿革、創始に関して、文献史料から詳細な検討をおこなっている。ご高覧いただき、ご批評いただければ幸いである。

京都大学吉田キャンパスは、ほぼその全域が周知の埋蔵文化財包蔵地となっており、当センターでは、その調査・分析から保存・活用にいたるまで、総合的な研究を実践している。発掘調査の内容や研究成果は、本年報だけでなく、調査時の現地説明会やホームページ、尊攘堂での資料展示などを通して、一般の人に広く知ってもらえるように努めてきた。一昨年度からは、本学総合博物館と連携して「文化財発掘」と題した特別展を総合博物館で実施し、本年度も、2月15日～4月16日を会期として「文化財発掘Ⅲ―激動の幕末と京大キャンパス―」という幕末に光をあてた展示を開催している。

当センターの前身である埋蔵文化財研究センターが1977年に発足してから、今年は40周年を迎える。100,000㎡をこえる埋蔵文化財の調査を実施し、これにともない膨大な発掘情報を蓄積し、またそうした情報を利用した研究成果も積み重ねてきた。先に記した総合博物館との連携事業も、発掘情報とそれにもとづく研究成果を広く社会に公開し、地域における文化財の研究・活用を先導していく試みの一環である。こうした試みの一環として、京都市考古資料館との連携事業も新たに企画しており、調査成果、研究成果の発信に関して、多方面と連携しつつ、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

当センターの様々な活動の中で、基幹となるミッションは、学内における施設整備にともなう発掘調査や立合調査である。こうした事業を円滑に進めるためには、施設部をはじめとした関連部局からの多大なご協力が不可欠である。関係各位に厚くお礼申し上げるとともに、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げる次第である。

2017年3月

京都大学文化財総合研究センター長  
吉川真司

## 例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で2015年4月1日から2016年3月31日までに発掘、整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学文化財総合研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$   
 $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$   $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE，土坑：SKのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。  
Ⅰ：京都大学病院構内AⅠ15区の発掘調査  
Ⅱ：京都大学吉田南構内AⅡ23区の発掘調査  
（例 Ⅰ1：京都大学病院構内AⅠ15区出土遺物1番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のもの、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影は、それぞれ報告者が担当した。
- 10 編集は、伊藤淳史が担当し、千葉豊、富井眞、笹川尚紀、内記理、磯谷敦子、柴垣理恵子、長尾玲、藤森良祐が協力した。

# 京都大学構内遺跡調査研究年報 2015年度

## 目 次

### 第 I 部 2015年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章	2015年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1	調査の経過	1
2	調査の成果	1
3	北部グラウンド防球ネット改修にともなう立合調査	3
第 2 章	病院構内 A I 15 区の発掘調査	5
1	調査の概要	5
2	層 位	6
3	遺 構	11
4	遺 物	17
5	小 結	28
第 3 章	吉田南構内 A P 23 区の発掘調査	31
1	調査の概要	31
2	層 位	33
3	縄文・弥生時代の遺跡	38
4	弥生前期水田のプラント・オパール分析	55
5	自然科学分析	62
6	古 代	79
7	中世の遺跡	90
8	近世の遺跡	113
9	小 結	117

参 考 文 献 .....	125
京都大学構内遺跡調査要項 .....	130
報 告 書 抄 録 .....	141

## 第Ⅱ部 京都大学文化財総合研究センター紀要ⅩⅩⅢ

中山吉田寺にかんする初歩的考察 .....	145
1 はじめに .....	145
2 所 在 .....	145
3 沿 革 .....	148
4 創 始 .....	152
5 吉 田 院 .....	156
6 おわりに .....	159

図 版 .....	巻末
-----------	----



## 図 版 目 次

巻首図版 京都大学吉田南構内A P 23区 弥生時代前期の水田と流路

図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点

図版 2 京都大学病院構内A I 15区

- 1 灰褐色土Ⅱ掘削後全景（東から）
- 2 淡褐色土・黄灰褐色土掘削後全景（東から）

図版 3 京都大学病院構内A I 15区

- 1 中世末期の平行溝群（北から）
- 2 井戸S E 1（南から）
- 3 集石S X 2（東から）
- 4 土坑S K 14（北から）
- 5 石垣S W 1（南から）
- 6 溝S D 35と柱穴列S A 2（南から）

図版 4 京都大学吉田南構内A P 23区

- 1 近世遺構掘りあげ後全景（東から）
- 2 中世遺構掘りあげ後全景（東から）

図版 5 京都大学吉田南構内A P 23区

- 1 黄色砂除去後全景（東から）
- 2 灰色・褐色粘質土掘りあげ後全景（東から）

図版 6 京都大学吉田南構内A P 23区

- 1 弥生前期水田遺構（東から）
- 2 弥生前期水田遺構と微高地（北東から）
- 3 弥生前期水田遺構（西から）

図版 7 京都大学吉田南構内A P 23区

- 1 水田域A土層断面（南壁Y = 2159付近）
- 2 水田域B土層断面（東西畦Y = 2162付近）
- 3 水田域B土層黄色シルトブロック細部（東西畦Y = 2163付近）

図版 8 京都大学吉田南構内A P 23区

- 1 S D 52 a・b 検出状況（北西から）
- 2 S D 52 a・b ほりあげ（北東から）
- 3 S R 3・S D 52断面（図23A - A' 畔北から）

図版 9 京都大学吉田南構内 A P 23区

- 1 炭化物集中部 S X 15 検出状況（南から）
- 2 S X 17 土器出土状況（南から）
- 3 流路 S R 6 ほりあげ状況（北から）
- 4 S P 459 半截断面（東から）
- 5 プラント・オパール試料採取状況（地点 6・西から）
- 6 土壌分析試料採取状況（1 地点・東から）

図版10 京都大学吉田南構内 A P 23区

- 1 中世溝群検出状況（南から）
- 2 S P 284 遺物出土状況（南から）
- 3 S X 9 遺物出土状況（西から）
- 4 S D 17 a・b ほりあげ（南から）

図版11 京都大学吉田南構内 A P 23区

- 1 土器溜 S X 2 検出状況（南から）
- 2 集石 S X 5 検出状況（西から）
- 3 土坑 S P 247 遺物出土状況（東から）
- 4 S X 3 土師器皿出土状況（北東から）
- 5 井戸 S E 13 井筒ほりあげ（北から）
- 6 井戸 S E 13 水溜ほりあげ（北から）

図版12 京都大学吉田南構内 A P 23区

花粉化石

図版13 京都大学吉田南構内 A P 23区

縄文後・晩期の土器(1) (黄色砂より下層の出土)

図版14 京都大学吉田南構内 A P 23区

- 1 縄文後・晩期の土器(2) (黄色砂より下層の出土)
- 2 弥生前期の土器(1) (灰色粘質土出土)

図版15 京都大学吉田南構内 A P 23区

弥生前期の土器(2), 弥生前期・中期の土器(1)

図版16 京都大学吉田南構内 A P 23区

弥生前期・中期の土器(2), 石器

- 図版17 京都大学吉田南構内 A P 23区  
古代の遺物
- 図版18 京都大学吉田南構内 A P 23区  
S P 247出土遺物, S P 284出土遺物, S X 2 出土遺物, 茶褐色土出土遺物
- 図版19 京都大学吉田南構内 A P 23区  
茶褐色土出土遺物(2), 押印瓦, S X 3 出土遺物, S D 14出土遺物
- 図版20 京都大学吉田南構内 A P 23区  
弥生前期の地形と遺構

## 挿 図 目 次

2015年度構内遺跡調査の概要	出土遺物……………23
図1 北部グラウンドの立合地点と 柱状層位図……………3	図11 S D 122・S P 243・S P 403 出土遺物……………25
病院構内 A I 15区の発掘調査	図12 S X 1・S W 1・S D 35・ 灰褐色土出土遺物……………27
図2 層位……………7	図13 近代の遺物……………29
図3 中世末期の遺構……………12	
図4 近世1期の遺構……………13	吉田南構内 A P 23区の発掘調査
図5 近世2期の遺構……………14	図14 調査地点の位置……………31
図6 井戸 S E 1……………15	図15 調査区の基本層序模式図……………33
図7 中世以前の遺物……………19	図16 調査区北壁の層位……………34
図8 緑灰色砂質土出土遺物……………20	図17 調査区南壁の層位……………37
図9 S E 1・S K 4・S K 3・S K 13・ S P 207・S X 2・S K 5・ S K 6・S K 8出土遺物……………21	図18 東西畔南壁黄色砂以下の層位…39
図10 S K 14・S D 180・S D 182・ S D 110・S D 103・S P 240・ S P 317・S P 500・S P 444	図19 南北畔南半東壁黄色砂以下の層位 ……………40
	図20 灰色粘質土上面の遺構と地形…41
	図21 灰色粘質土上面地形の3次元表示 ……………42

図22	S R 3・S D52断面	42			72
図23	黄色粘質土上面の遺構と地形	44	図43	5地点の土壌薄片写真	73
図24	黄色粘質土上面の遺構と地形	45	図44	土壌薄片拡大写真(その1)	74
図25	縄文後・晩期の土器(1)	48	図45	土壌薄片拡大写真(その2)	75
図26	縄文後・晩期の土器(2)	49	図46	古代の遺構	81
図27	弥生前期の土器	50	図47	S X 9・S D18・S R 1・S X13・ S D21・S D29・S D30・ S P308・S P309出土遺物	83
図28	弥生前期・中期の土器(1)	51	図48	中世の遺構に混入した古代の 遺物(1)	84
図29	弥生前期・中期の土器(2)	52	図49	中世の遺構に混入した古代の 遺物(2)	85
図30	石器	53	図50	茶褐色土出土遺物(1)	86
図31	調査区の基本層序と試料採取位置	55	図51	茶褐色土出土遺物(2)	87
図32	プラント・オパール試料採取地点	56	図52	中世の遺構	91
図33	プラント・オパール分析結果(1)	58	図53	S E13	92
図34	プラント・オパール分析結果(2)	59	図54	S P284鉄製品出土状況	93
図35	プラント・オパール分析結果(3)	60	図55	中世溝S D27・S D44断面	94
図36	プラント・オパール写真	61	図56	S D20・S D22・S D44・S D27 出土遺物	96
図37	調査地点の層序および試料採取 位置	63	図57	S D17出土遺物	97
図38	調査地点の試料写真(その1)	64	図58	S P247・S P314・S P365・ S P346・S P377・S P347・ S P381・S P413・S P414・ S P431出土遺物	98
図39	調査地点の試料写真(その2)	65	図59	S P284出土遺物	99
図40	粒度組成ヒストグラムと累積加積 曲線	69	図60	S X 2・S P247出土土師器の 計測結果	100
図41	微粒炭含量密度の層位変化	70	図61	S K 1・S K 2・S E13・S X 4・ S X 5出土遺物	101
図42	1地点・2地点の土壌薄片写真				

図62	S X 2 出土遺物	102	図73	S E 1・S E 3・S D 11・S D 4・ S D 53・S F 1・S X 3・S X 8・ S P 408・灰褐色土出土遺物	115
図63	落込2・落込5・落込6・落込7・ 落込11・落込14出土遺物, 茶褐色土出土遺物(1)	103	図74	S D 14出土遺物	116
図64	茶褐色土出土遺物(2)	104	図75	表土・攪乱層出土遺物	117
図65	石製品・青銅製品・銭貨	105	図76	弥生前期の地形と関連調査地点	119
図66	軒丸瓦(1)	107	図77	吉田南構内の主要中世溝と井戸	123
図67	軒丸瓦(2)	108			
図68	軒平瓦(1)	109			
図69	軒平瓦(2)	110			
図70	軒平瓦(3)	111			
図71	丸瓦・平瓦	112			
図72	近世の遺構	114			

#### 中山吉田寺にかんする初歩的考察

図78	中山吉田寺周辺	147
-----	---------	-----

## 表 目 次

表1	石器類の属性一覧	52	表4	微粒炭分析結果	70
表2	放射性炭素年代測定結果	54	表5	京都大学構内遺跡のおもな調査	131
表3	粒径組成	68			

2017年3月31日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報  
2015年度

編	集	京都大学文化財総合研究センター
発	行	京都市左京区吉田本町
印	刷	三星商事印刷株式会社
製	本	京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300